

令和2年度以降使用小学校教科用図書採択について

種目	発行者略称	選定理由
国語	光村	単元の学習過程を領域ごとに統一して明示しており、児童が見通しをもったり進捗状況を確認したりできるように工夫している。関連図書の紹介や巻末付録が充実しており、多様な読書活動や他教科の学習につながる。
書写	東書	文字を整えて書くためのポイントが「書写のかぎ」として系統立てて各単元に示してあり、身に付けたい力を意識しながら書くことができる。写真や書き込む欄において左利きの児童への配慮もある。
社会	東書	「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習過程をたどりながら問題解決的な学習を進めることができる。グラフの読み取りなどの学習技能を系統的に習得できる工夫や社会的な見方・考え方を育成する例示がある。
地図	帝国	第3学年から地図を活用できるように工夫してあり、図や写真、グラフも多く、調べ学習の資料として使いやすい。外国語活動や外国語科でも活用できるように、アルファベット表記の国名やあいさつの言葉も掲載している。
算数	啓林館	全単元に「じゅんび」「学びのまとめ」が設定されており、既習事項（レディネス）の確認と基礎的な知識・技能のチェックができる。単元末では振り返りや学習内容を生活に活用する内容がある。
理科	大日本	単元導入時に学習への興味・関心及び問題意識を高める工夫があり、問題解決的な学習過程が児童に分かりやすいように色分けしてある。単元末に「学んだことを生かそう」が設定してあり、学びを深めることができる。
生活	啓林館	紙面右下に「めくり言葉」を設定し、児童の思いや願いの連続性が大切にされている。学校での活動が実生活につながるように工夫してあり、写真や資料が鮮明で大きく、児童の活動意欲を喚起している。
音楽	教芸	全ての題材で学習目標とともに活動文が分かりやすく明示して見開きページで示し、学習を見通しながら活動できるように構成している。プログラミング的思考を働かせながら試行錯誤できる教材を配置している。
図画工作	日文	巻末の「使ってみよう材料と用具」では、各学年の発達段階に応じて基礎・基本を習得できるように構成している。家庭や地域社会との連携を意識した題材や佐賀県出身の作家の作品を掲載している。
家庭	開隆堂	調理や製作などの実習手順を見開きページで分かりやすく示し、三つの学習過程を設定しているため、児童が見通しをもって主体的に取り組むことができる。家庭や地域での実践につながる豊富な事例を掲載している。
保健	東書	単元のはじめに単元の流れとゴールを明示し、1単位時間では自分の考えをもち、説明したり話し合ったりして考えを広げたり深めたりするステップがあり、主体的・対話的で深い学びができるように工夫している。
英語	東書	2ページごとにSmall Talk（即興的なやり取り）が設定されており、ポイントを落とさずに学ぶことができる。単元末は異文化の情報が充実しており、異文化理解や国際理解に役立つ。絵辞書が別冊で自ら学ぶことができる。
道徳	日文	全学年を通して、いじめ防止に向けて重点的に取り組む教材構成になっている。道徳ノートが充実しており、児童の学習の記録として残すことができるので、評価資料として活用することができる。